

安全データシート

1/5

1. 製品及び会社情報	
製品名	NTS 抗菌消臭液 ノンアルコール (エヌティエス・ノンアルコール)
供給者	株式会社インターリンクス 〒462-0063 愛知県名古屋市北区丸新町390番地 リンクスビル 担当部門: 開発部 TEL: 052-901-8181 FAX: 052-901-8185 INTER LINX CO.,LTD. LINX BLDG, 390 Banchi, Marushin-Cho,Kita-Ku, Nagoya ,Japan 462-0063 Japan The section in its duty: Manufacture development department
コード	SDS-031016-4
MSDS #	031016-4
PAT #	
作成・改定日	
作成	2003年06月18日
改定	2011年11月10日
備考	
別名	
商品名または グレード	NTS抗菌消臭液 無香
主な用途	抗菌消臭
製造者	BJ HOLDINGS株式会社(LINX GROUP) 〒462-0063 愛知県名古屋市北区丸新町390番地 リンクスビル
内容問合わせ先・緊急連絡先 供給者に同じ	

2. 組成・成分情報					
単一製品・混合物の区分	CAS#	含有量(%)	化審法	安衛法	管理濃度及び許容濃度
成分 混合アミノ酸(ε-ポリリジン、D-リジン、ナイシン、L-バリン、塩酸アルギニン等)、植物抽出液、胚芽抽出液、ショ糖脂肪酸エステル(砂糖培地由来シュガーエステル)、エチドロン酸、食品用pH調整剤、電解イオン水	非該当	ノハウ部分につき非公開	非該当	非危険物	知見なし

3. 危険有害性の要約	
分類の名称	非該当
物理的状態及び外観	液体
危険有害性	警告 特に危険有害性はないが、眼への接触、高濃度での皮膚への長時間の接触を避ける。 大量のものが河川等への流入するとバクテリアを死滅させるおそれがある。
侵入経路	皮膚から吸収 眼への接触 吸入 摂取
急性作用	
目	次の場合、危険性あり : 眼への接触(直接接触時の刺激性)
皮膚	皮膚に対する危険性はない。次の場合、わずかな危険性あり。 : 高濃度で皮膚への長時間接触による刺激性あり。正常な皮膚には殆ど浸透性しないが、高濃度で長時間接触による掻痒感、発赤などの症状が現われるおそれあり。
吸入	正規商品の使用時に吸入した場合、特に危険有害性はない。 高濃度で吸入の場合の肺に対する刺激性おそれあり。
摂取	特に危険性はないが、大量に摂取すると下痢を起こすおそれあり。
慢性作用	発がん性作用 : 知見なし 変異原生作用 : 知見なし 催奇形性作用 : 知見なし
過剰暴露による容態悪化	知見なし
過剰暴露/徴候/症状	知見なし

4. 応急処置

目に入った場合	コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合には外すこと。目に接触した場合、水で15分以上目を洗浄する。きれいな水を使用すること。症状が現われた場合には、医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合	皮膚に対する危険性はない。高濃度で接触した場合には、濡れた衣服及び靴を脱ぎ、多量の水で皮膚をきれいに洗浄すること。きれいな水を使用すること。衣服と靴は洗浄してから再使用する。症状が現われた場合には、医師の診察を受けること。
吸入した場合	大量吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移動する。症状が現れた場合は、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	特に危険性はないが、数杯の水あるいは牛乳を飲ませる。症状が現れた場合は、医師の診断を受けること。
医師への注意事項	知見なし

5. 火災時の措置

製品の引火性	水系製品で不燃。特に危険はない。
発火点	知見なし
引火点	知見なし
爆発限界	知見なし
燃焼による危険生成物	危険性はない
可燃性	危険性はない
爆発特性	器械的衝撃による爆発の危険性 : 危険性はない 静電気による爆発の危険性 : 危険性はない
消火方法/消化剤	製品は引火性なし。ウォーターズプレー、ミストあるいは泡沫を使用すること。
保護具(火災)	認定済みの呼吸保護具あるいは同等のものを必ず使用する。
火災に関する 特別所見	知見なし
爆発危険性に関する 特別所見	知見なし

6. 漏出時の措置

少量漏出及び漏洩	適切な用具を使用し、漏出した液体を廃棄容器に收容すること。 床面に水を撒いて洗浄して廃棄する。
大量漏出及び漏洩	適切な廃棄容器に收容すること。 漏出された表面に水を撒いて清掃し、衛生設備から排水する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱上の注意	眼、皮膚および衣服への長時間の接触をさける。容器を閉めておく。十分に換気できる場所で使用する。取扱い後は、完全に洗浄する。
保管上の注意	容器を完全に密閉する。直射日光を避け、屋内、常温(30℃以下)で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	適切な換気を行う。専門家の指示を受けること。
------	------------------------

防護具	
目	安全眼鏡：着用が望ましい。
皮膚及び身体	実験衣：着用が望ましい。
呼吸器	防塵マスク：着用が望ましい。
手	保護手袋：着用が望ましい
足	ブーツ：着用が望ましい
防護具(ピクトグラム)	
大量漏出時の保護措置	ゴーグル 保護衣 防塵マスク ブーツ 手袋 大量漏出時の吸入を避けるための用具などを使用すること。 あるいは専門家の指示を受けること。
その他の衛生対策	知見なし
管理濃度及び許容濃度	知見なし

9. 物理的および化学物質的性質				
物理的状态および外観	液体	臭気	味	色
		無臭	若干苦い	透明
分子量	知見なし			
分子式	知見なし			
PH値	7.0±0.4(20℃)			
沸点	約100℃			
凝固点	0℃以下			
臨界温度	知見なし			
発火点	知見なし			
引火点	知見なし			
爆発限界	知見なし			
比重	約1.02(20℃)			
蒸気圧	知見なし			
蒸気比重	知見なし			
臭気域値	知見なし			
蒸発速度	知見なし			
揮発有機成分	知見なし			
オクタノール/水分配係数	知見なし			
イオン性(水中)	知見なし			
分散性	次の液体中での溶解性を参照		: 水	
溶解性	次の液体中での溶解性		: 水	
物理化学的コメント	溶解度(水)			

10. 安定性および反応性	
科学的安定性	通常の取り扱いにおいて安定である。
避けるべき条件	知見なし
混合危険性	知見なし
特別所見	知見なし
危険な分解生成物	所見なし
危険な重合	知見なし

11. 有害性情報

動物に対する毒性 経口急性毒性(LD₅₀) : 2,000mg/kg以上

人に対する慢性作用 知見なし

人に対するその他の毒性 次の場合、わずかな危険性あり : 高濃度で皮膚への長時間接触による刺激性。
少量吸入した場合の危険有害性なし。
高濃度で直接吸入の場合の肺に対する刺激性おそれあり。

動物に対する毒性に
関する特別所見 知見なし
(目刺激、皮膚刺激、変異原性等)

人に対する毒性に
関する特別所見 知見なし

人に対するその他の毒性に 次の条件に当てはまる作業員は、特別配慮を要する : 非該当
に関する特別所見

12. 環境影響情報

生態毒性(魚毒性等) 知見なし

生態蓄積性(魚濃縮性等) 知見なし

BOD/COD 知見なし

生分解性 知見なし

土壌移動性 知見なし

分解生成物 水

分解生成物の毒性 知見なし

特別所見 知見なし

13. 廃棄上の注意

廃棄物情報 少量廃棄の場合には、水に希釈して廃棄する。
大量廃棄の場合には、産業廃棄物処理認定業者に委託して処理すること。
国、都道府県並びにその地方の法規、条例に従うこと。

14. 輸送上の注意事項

陸上輸送上の注意事項 容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にする。一時停車させるときは安全な場所を選びエンジンを止めて安全の確保に努める。車輛等によって運搬する場合、荷送り人は運搬人へ輸送上の注意事項を渡す。該当法規に従って貯蔵、取扱い、荷造り、包装、表示、運送を行なうこと。国、都道府県並びにその地方の法規、条例に従うこと。

国連番号、分類、包装等級 国連番号 : 非該当 分類 : IMDGの規制を受けていない。 包装等級 : 非該当

国際規制

DOT分類 DOT(米国)管理物質ではない。

ADR/RID分類 ADR(ヨーロッパ)の規制を受けていない。

海上輸送
(IMO/IMDG分類) IMDGの規制を受けていない

航空輸送
(ICAO/IATA分類) IATAの規制を受けていない。

15. 適用法令

適用法令

火薬類取締法	非該当
--------	-----

高压ガス保安法	非該当
---------	-----

消防法 危険物	非該当
---------	-----

消防法 指定可燃物	非該当
-----------	-----

消防法 要届出物質	非該当
-----------	-----

消防法 性質	非該当
--------	-----

消防法 危険等級	非該当
----------	-----

毒劇法	非該当
-----	-----

化審法 (監視:特定化学物質)	非該当
--------------------	-----

特定化学物質等 障害予防則	非該当
------------------	-----

安衛法	非危険物
-----	------

有機法	非該当
-----	-----

鉛則	非該当
----	-----

海洋汚染物質	非該当
--------	-----

船舶安全法 (危規則)	非該当
----------------	-----

労働基準法 職業性疾病 (皮膚障害、感作性)	非該当
---------------------------	-----

PRTR法	非該当
-------	-----

道路法	非該当
-----	-----

その他の主要適用法規	非該当
------------	-----

参考国際規定

TSCA	登録なし
------	------

EINECS番号	登録なし
----------	------

DSCL(ECC)参考	S2- 子供の手の届かないように保管すること。 S36/37- 適当な保護衣および手袋を着用すること。
-------------	--

16. その他の情報

ラベルの文章	知見なし
--------	------

主な引用文献	知見なし
--------	------

特記事項	本品は労働安全衛生法による通知物対象物質ではありません。 TSCA(有害物質規制法) : 非該当
------	---

注意

記載した内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により、改定されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いをした場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。本製品を使用するに当たって、提供された情報を摘要するかどうかの最終的な決定は使用者の責任で行なって下さい。全ての物質は、未知の危険性を呈する可能性があり、ここで示した危険性は起こり得る全ての危険性を網羅したものであるということを保証する物ではありません。以上は情報提供でありのみであるます。以上の内容は、本情報による指示に従って本物質が取り扱われようといまいと、本物質の取り扱いによって生じる損害等の結果に対する責任については、一切責任を負いません。